

宇都宮商業會議所月報 第八拾號

稟告

一商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令
其他に商工業の發達を沮害する事情あらは速に
其狀況并に之に對する御意見等御一報あらんこ
とを望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れか組織の必要
を認められたる場合は申出られたらし

一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場に
充つる爲め會議室の使用を望まるゝ向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし

一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
ニ付者官廳其他ニ付シ會議所の總會又は召會

一本會議所には商工業者各位の時々來所高見を演述
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す
一本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の
有益ある圖書備付あり商工業者各位の隨時來所
閱覽あらんことを望む

別段當座預金
當座預金 百圓二付 壹錢
貯蓄預金年六分
株式會社宇都宮銀行
全材木町支店 (電話一三三番)
全足尾出支店 (電話四五〇番)
足尾出支店 (電話八〇番)
諸貸附割引、爲替、荷爲替、代金取立
總テ精々御便利ニ取扱可申候

諸廉芳香佳味且の
君奮なり御江湖試用

税制整理意見

〔全國商業會議所聯合會より〕

〔帝國議會に請願せる〕

我が商業會議所聯合會は去る三十八年後經營の方針に關し兵備の擴張に偏ることなく産業の發達を計り以て國力の充實を期すべきことを政府に建議し三十九年更に税制の整理を決行し財政の基礎を鞏固あらしむべきことを建議したり然るに政府の計畫は不幸にして我が聯合會の要望を容るゝに至らず歲計は益々膨大を來し戰後一年にして撤廢の約ある非常特別税の賦課を存續し我が財界をして愈々不良の状態に陥らしめたり是に於てか我が聯合會は更に四十年より四十二年に亘り財政豫算編成の方法を草正し歲出を調節し不良の税法を廢止し營業税法所得税法及び他の諸税制を整理して以て民力を休養し國富の充實を計るにあらされは遂に國運の發達を阻害すべきことを建議したり而して政府より今期議會に提出したる諸税法案を通覽するに恰かも税制整理を標榜し却て増税を敢行せんとするものゝ如し即ち塗專賣、通行稅、織物消費稅等の不良の税制の如き徒に姑息の改正を事として根本的に之を撤廢を爲さず是れ寔に民力の發展を期するの政策にあらずして却て産業の根本を危くし税源を涸渇せんとするものゝ謂ふ可し是に於てか吾人は深く國運の成長に鑑み默止するに忍びず左の諸項を掲げて茲に帝國議會の明鑑を仰かんと欲する所以あり

營業税及關稅に關する意見は別に請願書を提出したり 塗專賣、通行稅、織物消費稅の三稅を廢止せられんことを望む
第一 塗專賣、通行稅、織物消費稅に就ては我が商業會議所は多年之か全廢を主張し來りたるか政

豫算編成の方法を草正し歲出を調節し不良の税法を廢止し營業税法所得税法及び他の諸税制を整理して以て民力を休養し國富の充實を計るにあらされは遂に國運の發達を阻害すべきことを建議したり而して政府より今期議會に提出したる諸税法案を通覽するに恰かも税制整理を標榜し却て増税を敢行せんとするものゝ如し即ち塗專賣、通行稅、織物消費稅等の不良の税制の如き徒に姑息の改正を事として根本的に之を撤廢を爲さず是れ寔に民力の發展を期するの政策にあらずして却て産業の根本を危くし税源を涸渇せんとするものゝ謂ふ可し是に於てか吾人は深く國運の成長に鑑み默止するに忍びず左の諸項を掲げて茲に帝國議會の明鑑を仰かんと欲する所以あり

營業税及關稅に關する意見は別に請願書を提出したり 塗專賣、通行稅、織物消費稅の三稅を廢止せられんことを望む
第一 塗專賣、通行稅、織物消費稅に就ては我が商業

豫算編成の方法を草正し歲出を調節し不良の税法を廢止し營業税法所得税法及び他の諸税制を整理して以て民力を休養し國富の充實を計るにあらされは遂に國運の發達を阻害すべきことを建議したり而して政府より今期議會に提出したる諸税法案を通覽するに恰かも税制整理を標榜し却て増税を敢行せんとするものゝ如し即ち塗專賣、通行稅、織物消費稅等の不良の税制の如き徒に姑息の改正を事として根本的に之を撤廢を爲さず是れ寔に民力の發展を期するの政策にあらずして却て産業の根本を危くし税源を涸渇せんとするものゝ謂ふ可し是に於てか吾人は深く國運の成長に鑑み默止するに忍びず左の諸項を掲げて茲に帝國議會の明鑑を仰かんと欲する所以あり

營業税及關稅に關する意見は別に請願書を提出したり 塗專賣、通行稅、織物消費稅の三稅を廢止せられんことを望む
第一 塗專賣、通行稅、織物消費稅に就ては我が商業

府は塗專賣に就ては單に行政手續に依り賣買價格を低減せんとし通行稅に就ては今期議會に市内通行稅を免除するの改正案を提出し又

織物消費稅に就ては毛織物消費稅の減稅案を提出したるも未だ全く根本的に此等不良制度を全廢するに至らされは吾人の最も遺憾とする所あるか故に此際重ねて塗賣買、織物消費稅、通行稅を全廢せらんことを望む

第二 所得稅法中少くとも四百圓以下の所得に對しては課稅を免除し其の他の所得に對しては成るべく數多の階級を設け累進率により賦課することとし最高額を現行率より多かれしめざらんことを望む

第三 我が商業會議所は曩に所得稅法に對し第三種所得に付ては五百圓以下の課稅を免除せられたることを建議したり而して政府は前年整理案を提出したる際に於ては多少吾人の建議を容れ四百圓未滿を免除せんとしたるに拘はらず

今回提出の改正案に依れば勤勞所得者の一部に對して僅に所得額に二割の減額を認めたるに過ぎず又十萬圓以上に對しては全く階級を設けずして一様に千分の二百六十五の高率を課せんとするは共に當を得たるものと認むる

能はざるか故に少額所得者に對しては少くとも前年政府提出案の如く四百圓以下を免除せられんことを望むと同時に多額所得者に對しては更に多數の階級を設け且つ課稅率を低減し最高額を現行率即ち千分の二百三、五以内に止めて税制整理のため増稅の結果を來たさらんことを望む

第三 印紙稅法中約束手形の課稅率を爲替手形と同一にし送狀、賣買仕切書、受取書、物品切手(金額の記載あるものにして三圓以下)及び

一出版業を削除して物品販賣業中に編入せられんことを望む

(理由)政府は改正案に於て新に出版業を置いたるも出版業中新聞紙法に依るものは無税に於ける千分の三、七五より千分の五に増率したるは建物賃貸價格に於て減率したるに拘はらず多數の業者に於ける増稅は一般營業者の最も苦痛を感する處あり故に吾人は前項の如く修正して稅率を輕減するの至當あると認む

一製造業の資本金額に對する課稅標準を修正して千分の三半と爲し印刷業の課稅標準を製造業と全に修正せられることを望む

(理由)製造業の資本額に對する標準を現行法千分の三、七五より千分の五に増率したるは建物賃貸價格に於て減率したるに拘はらず多數の業者に於ける増稅は一般營業者の最も苦痛を感する處あり故に吾人は前項の如く修正して稅率を輕減するの至當あると認む

一出版業を削除して物品販賣業中に編入せられんことを望む

(理由)政府は改正案に於て新に出版業を置いたるも出版業中新聞紙法に依るものは無税に於ける千分の三、七五より千分の五に増率したるは建物賃貸價格に於ける製品販賣業者と全のものあるが故に全法第三項に「印刷場多く職工を使役するか故に直接に營業に使用するものに限ること」を修正するの至當あると認む

一第十六條現行法及び改正案第三項從業者の計算方法を修正して平均數に依ることとせらんことを望む

(理由)從來從業者の計算は前年中に於ける多數の時に依るの規定なるもの之甚た既に失するのみからず公平を缺くものあれはこれを前年中の平均額に依ることと爲すの至當あると認む

一第十八條但書を修正して建物賃貸價格の計算は直接營業に使用するものに限ることとせらん事を望む

(理由)現行法は全一區域内にある家屋は總てある從業者と見做す能はざるものあるが故に此等の幼年者は總て課稅範圍外に置くの至當あると認む

一第十九條但書に從業者中營業者の家族に對する除外例を設けられることを望む

(理由)改正案第十九條は現行法の但書を削除したるものあるが故に之を合併して甲乙の間に特に等差を設ぐるの嫌いがあると認むるか故に之に之を合併して甲乙の間に特に等差を設ぐるの嫌いがあると認むる

一第十二條末項の規定を修正して十五歲未滿の從業者の課稅を免除せられんことを望む

(理由)改正案は現行法に比すれば十五歲未滿の從業者の課稅を半減したるものと認むる

一十五歲未滿の從業者の如きは概して見習員に十五歲未滿の從業者の如きは概して見習員

貯金通帳を無税とあらんことを望む

理由

約束手形に對する現行課稅率の過重あるが爲め表面形式を變して爲替手形を使用するものあるに至り兩種手形の格別ある用途を混亂し以て一般に信用取引の發達を阻害する虞あるが故に約束手形の稅率を復舊して爲替手形と同一と爲すの必要あるを認む又送狀、賣買仕切書、受取書に印紙稅を課するか如きは當に納稅者をして手數の煩雜と課稅の繁苛に苦しむるのみあらす取引の發達を阻害するの因たらんとす依て此等に對する課稅を廢し又彼の貯金通帳に課稅するか如きは貯金の本質として課稅標準たるへきものにあらざるのみあらす貯金獎勵の要旨に適合せざる所のものあるを以て是れ又斷然廢止せられんことを望む

第四 取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

現行取引所稅法の課稅標準は賣買各約定金額に依るものにして一賣買に對し賣約定と買約定と別々に計上合算するものにして普通の條理に基ける一賣買は取引所の取引に於て二賣買として課稅せらるるの奇相を實現し居れるものあり仍て吾人は其の課稅標準を改め賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲すを以て至當ありと認む

第五 約束手形に對する現行課稅率の過重あるが爲め表面形式を變して爲替手形を使用するものあるに至り兩種手形の格別ある用途を混亂し以て一般に信用取引の發達を阻害する虞あるが故に約束手形の稅率を復舊して爲替手形と同一と爲すの必要あるを認む又送狀、賣買仕切書、受取書に印紙稅を課するか如きは當に納稅者をして手數の煩雜と課稅の繁苛に苦しむるのみあらす取引の發達を阻害するの因たらんとす依て此等に對する課稅を廢し又彼の貯金通帳に課稅するか如きは貯金の本質として課稅標準たるへきものにあらざるのみあらす貯金獎勵の要旨に適合せざる所のものあるを以て是れ又斷然廢止せられんことを望む

第六 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第七 約束手形に對する現行課稅率の過重あるが爲め表面形式を變して爲替手形を使用するものあるに至り兩種手形の格別ある用途を混亂し以て一般に信用取引の發達を阻害する虞あるが故に約束手形の稅率を復舊して爲替手形と同一と爲すの必要あるを認む又送狀、賣買仕切書、受取書に印紙稅を課するか如きは當に納稅者をして手數の煩雜と課稅の繁苛に苦しむるのみあらす取引の發達を阻害するの因たらんとす依て此等に對する課稅を廢し又彼の貯金通帳に課稅するか如きは貯金の本質として課稅標準たるへきものにあらざるのみあらす貯金獎勵の要旨に適合せざる所のものあるを以て是れ又斷然廢止せられんことを望む

第八 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第九 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十一 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十二 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十三 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十四 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十五 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十六 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十七 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十八 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第十九 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十一 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十二 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十三 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十四 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十五 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十六 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十七 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十八 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第二十九 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十一 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十二 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十三 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十四 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十五 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十六 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十七 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十八 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第三十九 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十一 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十二 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十三 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十四 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十五 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十六 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十七 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十八 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第四十九 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第五十 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第五十一 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第五十二 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第五十三 第四取引所稅は賣買當事者より徵收する取引所の手數料を課稅標準と爲さんことを望む

第五十四 第四取引所稅は

徵稅事務に關する意見

吊特別稅を存續併課するものあり

十四年三月廿日治沿
か故に組織上に於ては其統一を欠き課税率に於て
は其均衡を失するもの甚た多し是れ我か商業會議
所が多年根本的に税制の整理と税率の輕減とを希
望して止まさる所以あり而して吾人は是等の希望
と共に又常に徵稅事務に關して政府當局の注意を
要請するものあり何そや則ち稅務當局者は納稅義務
者に對する苛酷誅求の弊を矯正せんことは是れを
め夫れ免去軍用の少は屬翌屬重の弊と並び竊疾實

致するをきを保證せるより是れ我が商業會議所が屢々徵稅事務の改善に關し政府當局の注意を要請したる所以あり然かも稅務當局の納稅者に對するの態度は依然として改善せられたるを見る能はざるのみあらず苛酷誅求の度益々嚴に今や殆んど其實に堪へずして往々其業を廢するものあるに至る實に國家の爲め憂ふべき事相ありと謂ふへし是を以て我が商業會議所は此に重ねて微衷を披瀝し政府當局の採擇を請はんとする。

去十三年間に僅々三年あるに過ぎずして他の十年間は悉く十一二圓臺にあり而かも米產高は大勢に於て年々増加を示しつゝあれはあり
斯の如くにして相當の原因を備へて今日の低位に降れる米價は米界を風靡つゝある人氣を一變せしむべき有力ある事實の現出に接するにあらざれば俄かに其回復を望む能はざるべき乎

◎商會の悪弊

去十三年間に僅々三年あるに過ぎずして他の十年間は悉く十一二圓臺にあり而かも米產高は大勢に於て年々増加を示しつゝあれはあり斯の如くにして相當の原因を備へて今日の低位に降れる米價は米界を風靡つゝある人氣を一變せしむべき有力ある事實の現出に接するにあらざれば俄かに其回復を望む能はざるべき乎

◎商會の惡弊

四十二年に於ける商家の成績は概して良好あらざりしものゝ如く勿論其原因は戰後無算ある營業の擴張に打撃を蒙り加ふるに昨年來内外經濟界の不振甚だしく殊に内地一般不景氣の影響を被りたるに依るべきも又以て近年他に各營業を通じて製造元若くは問屋と其得意先との間に看過すべからざる惡現象の追々に膨脹せるにも依れり即ち賣掛期間の延長及び其支拂方法の日を追ふて不規則に流るゝ一事にて古き以前は兎に角從來大抵六十日を期限として取引せしに近年に至りては九十日若くは百二十日に至り甚だしきは五ヶ月六ヶ月ある長期の取引をもす者も有之由畢竟當業者が漫りに賣焦るの結果此處に至りしものにて得意先にては此等の結果追々に我儘とあり且つ今日にては如何なる商品にもあれ必ずしも製造元若くは發賣元の手を経るの必要をき迄に便利とありしかば仕入先に對する情義自から輕薄に傾きて破廉恥を敢てするも憚らざる者少むからず例へば問屋と取引を開始し始めの程は暫く現金支拂をもすも其後追々に掛賣を請求し其掛嵩みて結局問屋にて其上の要求に應せざるに至れば甚だしきは其儘從前の掛先を踏倒さんとするの舉動に出で斯くして追々に其の悪緑を深からしむるに至ると云ふ一昨年來破綻者續出せる其の重なる原因は概して賣掛の固定ある

が其固定に至る徑路は概して前記の如し是迄と雖
ども勿論此種の惡習ありしにはあらざるも併し近
頃に至りて著しき膨脹をあせる傾きあり殊に地方
商人の如きは從來割合に單純ありし輩が此惡癖に
感染するや隨分無鉄砲の振舞をあして憚からず爲
に當業者が之れに苦しめらるゝと此頃益甚だしき
に至りし由にて今にして之れが救濟策を講せざれ
ば前途益々寒心すべき弊害を增長するのみあらず
延ては商業の發展に大なる障礙を來すの因である
かうかと憂鬱するゝ妙、ひづれ、

庶務

明治四十二年十二月執行したる事務左の如し
一收受文書自第ニ三一三號
至第ニ五〇〇號白八十八件

一發送文書
自第三〇六號
至第三三二號
二十六件

重要事項

調査回報す(十二月六日)

一工場法案諮詢に對する件聯
に付役員會を開く(十二月十
一發表實質轉不充分)爲

一送り貨車運轉不充分の爲め
場困難せる旨當業者より陳
帝國鐵道廳東部管理局長及官

を發す(十一月十四日)

格を照會す(十二月十一
二工場法案諮詢間に對する
旨の件、改定二回)

二月廿八日）一本年十一月中の市内金融状況を調査す
一本年十一月中の市内者物貿及貨物集貿高と開資

一本年十一月中の市内諸物價及貨物交易高を記す

市内賃錢調査表 (明治四十二年下半期)

(明治四十二年下半期)

最高	普通	最低	最高	普通	最低
九	月	月	十	二	月
最高	普通	最低	最高	普通	最低
三〇	三三	一九	二六	二三	一八
内	内	内	内	内	内

市內物價調查表

九
用十用十一

宇宮商業會議所月報

日八十月二年三十四治明

農作日雇	男賄衣 女付	三〇	二三	一九	三〇	二三	一九	三〇	二三	一九
農作日雇	男	四五	四五	三七	一	一	一	一	一	一
農作日雇	女	三〇	二五	二〇	一	一	一	一	一	一
蠶絲織女	(日給)	三二	三〇	二七	三三	三〇	二七	三四	三五	三七
機織職	(日給)	女	二三	一八	一五	二二	一八	二二	一八	一六
塗師	職(日給)	七〇	六〇	五〇	七〇	六〇	五〇	四五	四〇	三七
飾	職(日給)	五〇	四五	四〇	五〇	四五	四〇	三七	三五	三三
染物	職(日給)	六〇	五〇	四〇	六〇	五〇	四〇	三七	三五	三三
和服仕立職	(日給)	男	八〇	七〇	五〇	八〇	七〇	五〇	三七	三三
和服仕立職	(日給)	女	六〇	五〇	四〇	六〇	五〇	四〇	三七	三三
洋服仕立職	(日給)	一〇	七〇	五〇	一〇	七〇	五〇	三七	三三	三一
木挽職	(日給)	七五	六五	五五	七五	六五	五五	三七	三三	三一
大工職	(日給)	七五	六八	六〇	七〇	六三	五五	三七	三三	三一
左官職	(日給)	七五	六八	六三	七五	六八	六三	三七	三三	三一
瓦葺職	(日給)	一二	一〇	八〇	一二	十	八〇	三七	三三	三一
家根職	(日給)	八五	八〇	七五	八五	八〇	七五	三七	三三	三一
指物職	(日給)	七〇	六〇	五〇	七〇	六〇	五〇	三七	三三	三一
經師職	(日給)	七五	六五	六〇	七五	六五	六〇	三七	三三	三一
疊刺職	(日給)	九〇	八〇	七〇	九〇	八〇	七〇	三七	三三	三一
建具職	(日給)	七〇	六〇	五〇	七〇	六〇	五〇	三七	三三	三一
植木職	(日給)	八〇	七五	七〇	八〇	七五	七〇	三七	三三	三一
石工	(日給)	六五	一	一	六五	一	一	一	一	一

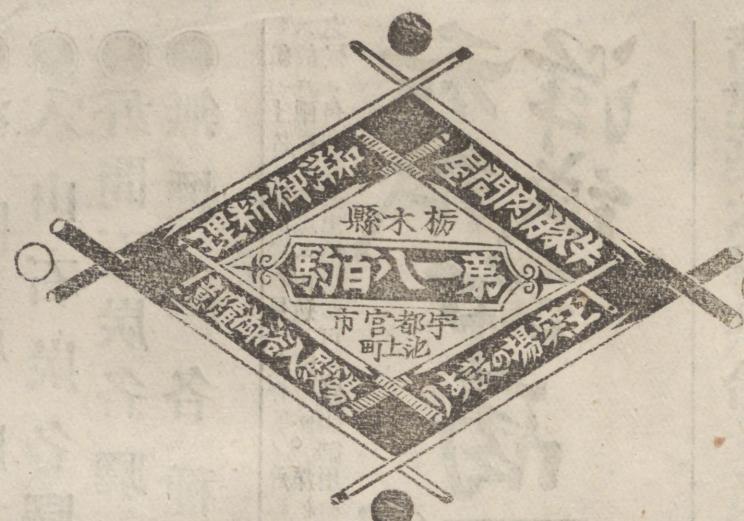
報月所議會業商宮都字

日八十月二年三十四治明
日可四月物便六月年治明第
七冊種類謂

菓子製造職(日給)	八五	七〇	六〇	八五	七〇	六〇
下駄職(日給)	八五	七〇	五五	八〇	七〇	五五
馬具職(日給)	荷鞍	五〇	四五	四〇	五〇	四五
車製造職(日給)	六〇	五〇	四〇	六〇	五〇	四〇
鑄物職(日給)	六〇	五〇	四五	五五	五〇	四五
鍛治職(日給)	六五	六〇	五〇	六五	六〇	五〇
綿打職(日給)	五二	四四	三五	五二	四四	三五
活版植字職(日給)	七〇	四五	三五	七〇	四五	三五
版摺職(日給)	七〇	四五	三五	七〇	四五	三五
油絞職(日給)	六五	六二	五七	六五	六十五	七五
桶職(日給)	五五	五〇	四〇	五五	五〇	四〇
杜氏(月給)	一三	四 <small>円</small>	一	一	四 <small>円</small>	一
醬油製造職(月給)	四五	四 <small>錢</small>	三五	四 <small>錢</small>	四〇	三七
下男(月給)賄付	四〇	二五	二〇	四〇	五二	二〇
日雇人夫	四五	四〇	三五	四五	四〇	三七
下女(月給)全	二五	二〇	一五	二五	二〇	一五
職(日給)	六〇	一	一	一	一	一



利洋御料理及天麩羅原料
は元濱方と特約日々新鮮
のものを選み直輸入風味
と衛生を重んと御手軽
迅速は最も第一の特色



番六百七 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる神
戸米澤豚肉は海外より特
種の者を選み品質精良價特
格低廉衛生經濟富國強兵
に缺ざる日常食品の親玉

參拾金本支店 宇都宮市大工町五番地
株式寶積寺銀行宇都宮支店
支店 東京府北住中組五八五番地
電話下谷一八八三番

本公司登録

諸貨附割引爲替荷爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

定期預金 年步九分
別段預金 日步一錢

軽便洋食
臺品十三種也
失嗜のルーホヤービ 下縣
牛乳 生ビール牛乳
和洋酒類
番九三六話電町師曲市宮都字
すよりあ食堂時々自他

内外各種肥料

手塚 豊吉 宇都宮市上河原町

一、資本金五百萬圓
二、積立金三百餘萬圓
三、諸預金二千六百餘萬圓

合名會社 安田銀行宇都宮支店
(電話百五十番)

一、本店所在地 東京市日本橋區小舟町三丁目九番地
二、支店出張所 貳拾壹ヶ所
三、各地送金 無手數料

宇都宮市大工町四十八番地

電話二二三一一番
電略(テツカ)又ハ(ア)

明保野 酿造元 新部幸吉
登録商標 銘
明保野 酿造元 新部幸吉
酒 電話三六四番
明保野は學理と實驗とに依て醸造したる酒質醇良滋養豐富香味絶佳な
る無比の一品にして夙に好酒諸賢の好評を博し販路日に
月に擴張の盛況に在るは深く愛顧諸君に謝る所なり
○各種取扱へ有之候ニ付御用命奉願上候
○見本ノ御一報次第二早速御送可申上候
○大阪疏曹株式會社製品特約販賣
○關東酸曹株式會社製品特約販賣
○將來益々酒質の改良に努むへし希くは倍舊の御引立からんことを敬白

營業品目

藥品賣藥醫療器械
理化學器
寫真器械附屬一式
コンデシスミルク特約店

宇都宮市馬場町
木村作次郎
日光中鉢石町電話一七番
木村支店
電話百十一番

海陸產肥料各種
入山石炭各驛一手販賣
好間石炭各驛一手販賣
無煙炭各種大販賣

宇都宮市石町
針屋上濱吉
宇都宮市石町
電話三三番

諸建築木材給供請負業
諸木材戶障子廉價販賣

宇都宮市下小路町四番地

花浪花清吉
電話三二一

和紙卸商

宇都宮市千手町
上油屋紙店
相場直三郎

電話四〇番

諸建築木材供給受負
諸木材廉價販賣

宇都宮市日野町
今都賀屋木材店
篠嶋安平

電話一三八番

業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ者町通ニ移轉仕候條

陸續御用命奉願候

領受狀褒於會進共覽

博大日常ノ食料ト進
高物用ニハ便利ニ
評最廉價ナリ
小品質純良ニシテ
風味ノ美ナルハ
弊社ノ特長ナリ



元造製

宇都宮市田塙町
小杉製麵會名合
(番四五話四電)